

# 家畜衛生だより（平成28年9月）

紀北家畜保健衛生所

tel 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

tel 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

tel 0735-58-1481

## 牛白血病対策を徹底しましょう！

### 牛白血病とは？

牛白血病（地方病型）は、牛白血病ウイルスにより白血球（Bリンパ球）が腫瘍化する病気で、発症すると全身のリンパ節や臓器に異常を認めます。感染牛が発症する確率は数%程度であり、感染から発症までに数年程度がかかりますが、一度感染すると回復することはありません。また、感染を防ぐワクチンも無く、発症すると治療する方法もありません。特に、と畜場で牛白血病が発見されると全廃棄となるため、経済的にも損失の大きい疾病です。

全国の牛白血病発生頭数は、平成10年度では99頭でしたが、平成27年度では3,000頭を超えるまでに増加しております。また感染しただけでは外見上に変化が無いことから、知らないうちに感染が拡大することも多いため、牛白血病に対する正しい知識を身につけ、適切な対応を取ることが重要です。

### <牛白血病の感染経路について>

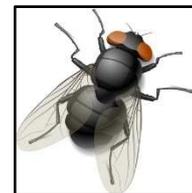
牛白血病は、牛白血病ウイルスに感染した白血球が他の牛に移動することで感染が広がります。血液や乳汁は白血球を含んでいるため、これらが感染源となります。

#### 1. 水平感染

- ①注射針・直検用手袋・除角器具等の連続使用による人為的伝播
- ②サシバエ・アブ等の吸血昆虫による伝播
- ③直接接触による伝播

#### 2. 垂直感染

- ①初乳や乳汁による伝播
- ②子宮内感染や産道感染等、分娩時の伝播



### <牛白血病対策について>

#### 1. 侵入防止対策

繁殖雌牛等を外部導入する場合は、牛白血病陰性であることが確認された牛を導入しましょう。陰性が確認できない場合は、隔離して飼養し、早期に検査を行いましょう。

## 2. 感染牛の淘汰

定期的な検査により病態を把握し、感染牛が確認された場合は計画的に淘汰・更新を行いましょ。特に他の牛への感染リスクが高い「ハイリスク牛」は早期に淘汰しましょ。

※牛白血病に感染し、持続性リンパ球増多症を発症している牛をハイリスク牛と呼んでいます。ハイリスク牛は、血液中に感染リンパ球を多く持っていることから、他の牛への感染リスクが高くなっています。

## 3. 感染牛の隔離

感染牛と非感染牛を隔離し、接触しないようにしましょ。隔離が難しい場合でも、ハイリスク牛と非感染牛が横並びにならないよう、工夫して牛の配置を行いましょ。

## 4. 吸血昆虫（アブ・サシバエ）対策

畜舎周辺の清掃や除草、殺虫剤の散布を定期的に行いましょ。また、忌避剤の使用も有効です。また、吸血昆虫の口器についた血液が乾燥すると感染力が低下しますので、吸血昆虫対策をする上でも隔離は重要です。

### ※アブトラップについて

アブは駆虫が難しいため、様々な対策が検討されています。以下のHPにアブの捕獲装置（アブトラップ）が紹介されていますので参考にして下さい。

（農研機構 HP）<http://cse.naro.affrc.go.jp/siraisi/trap/>

（東北農研 HP）<http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/contents/horseflytrap/index.html>

## 5. 人為的伝播の防止

注射針や直検用手袋は、1頭ごとに交換しましょ。除角器具や耳標装着具など血液が付着する器具は、使用するごとに洗淨し消毒液に浸漬しましょ。作業は非感染牛から行い、感染牛は最後に行いましょ。

## 6. 垂直感染の防止

乳汁、特に初乳には多くのウイルスが含まれています。感染牛の子牛は、出来るだけ早く母牛から離しましょ。この場合、子牛が分娩前に感染している可能性も考えられますので、非感染牛とは隔離して飼育しましょ。

※感染牛の初乳には、牛白血病ウイルスの抗体も含まれています。人工初乳を給与することで、逆に感染しやすくなる場合もありますので、分娩後の管理については、最寄りの家畜保健衛生所へ相談して下さい。